

〔報告〕

香川大学医学部におけるカリキュラム・授業等についての評価

宮武 伸行¹, 平尾 智広²

¹香川大学医学部衛生学, ²香川大学医学部公衆衛生学

Evaluation of Class Curriculum at Faculty of Medicine, Kagawa University

Nobuyuki Miyatake¹, Tomohiro Hirao²

¹Department of Hygiene, Faculty of Medicine, Kagawa University,
²Department of Public Health, Faculty of Medicine, Kagawa University

要 旨

香川大学医学部では、今後のよりよいカリキュラム・授業のために、医学科、看護学科学生に対し、「医学部におけるカリキュラム・授業等についての全般的な評価」に関するアンケート調査を行った。対象は医学科593名、看護学科255名で、アンケート回収率はそれぞれ75.7%、92.9%であった。香川大学医学部学生のカリキュラム・授業に対する満足度は比較的高かった。しかし、教養科目に対する満足度は低く、特に英語を含めた内容の充実、科目の意義を伝える必要があると思われた。

キーワード：授業カリキュラム、香川大学医学部、アンケート

Summary

We evaluated the class curriculum at faculty of medicine, Kagawa University in 2009. A total of 593 students in division of medicine and 255 students in division of nursing were enrolled in this study. The response rate of questionnaire was 75.7% in division of medicine and 92.9% in division of nursing. Most students were satisfied with the class curriculum. However, they were not satisfied with the basic education curriculum including English program compare to other professional curriculum. We need to improve basic education curriculum and communicate the necessity of those curriculum.

Key words: Class curriculum, Faculty of Medicine, Kagawa University, Questionnaire

はじめに

香川大学では、各学部授業単位等で、学生によるそれぞれの授業評価を行っている¹⁾。また、各授業評価とともに、2年毎に、カリキュラムに関するアンケートも行っている。しかしながら、医学部は、他の学部と違い、医学科、看護学科とも入学時点で、将来医師、看護師、保健師、養護教諭等になる強い意欲のある学生が入学してきており、教育しなければならないカリキュラム自体もある程度決まっていることも事実である。

目的

2009年度「カリキュラム・授業等についての全般的な評価」を香川大学全体で行った。そこで今回、よりよい医学部教育カリキュラム作成のための基礎資料を得ることを目的に、「医学部におけるカリキュラム・授業等についての全般的な評価」に関するアンケート結果を報告する²⁾。

連絡先：〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部衛生学 宮武 伸行

Reprint requests to: Nobuyuki Miyatake, Department of Hygiene, Faculty of Medicine, Kagawa University, Miki, Kagawa, 761-0793, Japan

表1 カリキュラム・授業等についてのアンケート回答属性 (医学科)

	全体	回答率 (%)	男性	女性
1年生	71	68.9	15	19
2年生	73	70.9	13	9
3年生	83	89.2	13	14
4年生	82	88.2	16	3
5年生	47	48.5	15	7
6年生	93	89.4	46	23
合計	449	75.7	118	75

男女別人数は、男女別の質問項目に回答のあった者のみ

表2 学部, 学科の志望理由 (%) (医学科)

	将来希望する職業に関連	もともと興味があった	入試の進路指導	地元だから	その他
1年生	88.4	7.2	2.9	1.4	0.0
2年生	82.2	11.0	4.1	0.0	2.7
3年生	85.5	6.0	3.6	2.4	2.4
4年生	86.3	12.5	0.0	1.3	0.0
5年生	85.1	6.4	2.1	2.1	4.3
6年生	78.3	17.4	1.1	3.3	0.0
合計	84.0	10.6	2.3	1.8	1.4

方法

2009年度、香川大学全体で学生に対して行った「カリキュラム・授業等についての全般的な評価」の一環として行った。

1. 医学科

香川大学医学部医学科学生 593 名 (男性 369 名, 女性 224 名) に対し、「カリキュラム・授業等についての全般的な評価」に関するアンケートを行った。調査期間は平成 21 年 11 月から平成 22 年 2 月にかけて、授業、試験時などを利用して教員により、配布回収した。質問項目は、学年、性別、学部、学科の志望動機、講義を受けた感想、図書館について、成績評価、オフィスアワー (学生が教員への相談、質問等を行うため、授業科目毎に時間帯を設定) に関する項目であった。なお、質問項目の詳細は結果の表に示した。

2. 看護学科

香川大学医学部看護学科学生 255 名 (男性 30 名, 女性 225 名) に対し、「カリキュラム・授業等についての全般的な評価」に関するアンケートを行った。調査期間は平成 21 年 11 月から平成 22 年 2 月にかけて、授業、試験時を利用して教員により、配布回収を行った。質問項目は、学年、性別、学部、学科の志望動機、講義を受けた感想、図書館について、成績評価、オフィスアワーに関する項目であった。なお、質問項目の詳細は結果の表に示した。

医学科、看護学科とも男女別の質問項目に回答があった者が少なかったため、それ以外の項目にすべて回答のあった者を解析対象者とし、各質問項目につい

て、学年ごとに、回答割合を算出した。なお解析は、Excel および StatView 5.0 (SAS Institute Inc., Cary, NC, USA) を用いて行った。

3. 倫理的配慮

本アンケート自体の実施は香川大学全体で実施することが決定されたものである。しかしながら、医学部医学科、看護学科ともアンケートの回答は自由とし、個人名の記載は行わず、さらに個人が識別されない形で回収し、個人が識別されないように配慮した。さらに、本アンケートの概要の一部はすでに香川大学ホームページで公表されており²⁾、本報告としての投稿、掲載に関しては、大学担当理事、医学部長、医学部学務委員長の承認、了承を得た。

結果

1. 医学科

回答者数は表 1 のとおりで、アンケート回答率は 5 年生が約 50%、その他の学年は約 80%、全体では 75.7%であった。また、男女別の質問項目に回答した割合はかなり少なく、全体の 4 割程度であった。

学部学科の志望動機は、各学年とも、将来希望する職業に関連していると回答した割合が最も多く、各学年とも約 8 割で、全体では 84.0%であった (表 2)。

講義を受けた感想 (全学年共通質問項目) では (表 3)、「現在の学部、学科に入ってよかったと思う。」に関しては、全学年を通じて、非常にそうであるもしくはおおむねそうであると回答していた (非常にそうである: 全体で 46.8%)。「本学科の教育目的、目標を

表3 講義を受けた感想 (医学科全学年共通質問事項) (%)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
1) 現在の学部・学科に入ってよかったと思う。						
1年生	0.0	0.0	2.8	5.6	33.8	57.7
2年生	0.0	1.4	2.7	13.7	37.0	45.2
3年生	0.0	0.0	1.2	11.0	37.8	50.0
4年生	1.2	0.0	0.0	3.7	49.4	45.7
5年生	2.1	0.0	2.1	8.5	48.9	38.3
6年生	2.2	0.0	3.2	7.5	45.1	41.9
合計	0.9	0.2	2.0	8.3	41.8	46.8
2) 本学科の教育目的、目標を達成するための科目が十分に用意されていた。						
1年生	2.9	2.9	11.4	34.3	27.1	21.4
2年生	0.0	1.4	8.3	23.6	47.2	19.4
3年生	0.0	0.0	7.3	18.3	53.7	20.7
4年生	0.0	0.0	1.2	13.6	56.8	28.4
5年生	0.0	0.0	2.2	13.3	55.6	28.9
6年生	0.0	1.1	4.3	16.1	60.2	18.3
合計	0.5	0.9	5.9	19.9	50.6	22.3
3) シラバスは授業の内容を知る上で非常に役に立った。						
1年生	0.0	2.8	14.1	25.4	36.6	21.1
2年生	1.4	5.5	8.2	23.3	47.9	13.7
3年生	0.0	0.0	11.1	29.6	42.0	17.3
4年生	1.2	1.2	12.3	21.0	43.2	21.0
5年生	0.0	0.0	10.6	27.7	44.7	17.0
6年生	0.0	1.1	9.7	29.0	48.4	11.8
合計	0.4	1.8	11.0	26.0	44.0	16.8
4) 教養科目は有意義であった。						
1年生	1.4	4.3	17.1	32.9	32.9	11.4
2年生	4.1	11.0	27.3	23.3	24.7	9.6
3年生	5.0	21.3	18.8	20.0	26.3	8.8
4年生	0.0	14.8	16.0	17.3	34.6	17.3
5年生	4.3	34.0	14.9	17.0	17.0	12.8
6年生	2.2	18.5	20.7	25.0	27.2	6.5
合計	2.7	16.5	19.4	22.8	27.8	10.8
5) 教養科目の単位数はもっと多い方がよい。						
1年生	1.4	23.9	33.8	26.8	8.5	5.6
2年生	2.7	38.4	23.3	21.9	11.0	2.7
3年生	5.1	34.2	20.3	19.0	16.5	5.1
4年生	1.2	17.3	24.7	24.7	22.2	9.9
5年生	6.4	42.6	12.8	25.5	8.5	4.3
6年生	6.5	30.4	25.0	25.0	10.9	2.2
合計	3.8	30.2	23.9	23.7	13.3	5.0
6) 教養科目は専門課程に入ってからあった方がよい。						
1年生	0.0	21.1	32.4	23.9	15.5	7.0
2年生	2.8	41.7	23.6	16.7	11.1	4.2
3年生	2.5	40.0	18.8	17.5	15.0	6.3
4年生	1.3	32.5	21.3	8.8	23.8	12.5
5年生	2.1	51.1	14.9	10.6	17.0	4.3
6年生	4.3	35.9	21.7	18.5	17.4	2.2
合計	2.3	36.2	22.4	16.3	16.7	6.1
7) 教養科目は専門課程との関連性を考慮したカリキュラムである。						
1年生	1.4	16.9	32.4	28.2	12.7	8.5
2年生	4.1	34.2	23.3	23.3	11.0	4.1
3年生	5.0	31.3	21.3	20.0	15.0	7.5
4年生	0.0	21.0	22.2	21.0	22.2	13.6
5年生	2.1	29.8	23.4	23.4	14.9	6.4
6年生	3.3	20.7	28.3	23.9	20.7	3.3
合計	2.7	25.2	25.2	23.2	16.4	7.2
8) 外国語の授業はもっと多い方がよい。						
1年生	1.4	8.5	23.9	36.6	18.3	11.3
2年生	1.4	20.5	23.3	35.6	12.3	6.8
3年生	5.0	21.3	22.5	23.8	22.5	5.0
4年生	0.0	18.5	18.5	26.0	25.9	11.1
5年生	0.0	30.4	13.0	34.8	15.2	6.5
6年生	1.1	11.0	19.8	37.4	26.4	4.4
合計	1.6	17.4	20.6	32.1	20.8	7.5
9) もっと医学英語の理解に役立つ授業をしてほしい。						
1年生	0.0	2.9	2.9	20.3	47.8	26.1
2年生	2.8	6.9	9.7	29.2	34.7	16.7
3年生	1.2	8.5	12.2	35.4	29.3	13.4
4年生	0.0	1.2	22.8	24.0	32.9	19.0
5年生	0.0	12.8	8.5	29.8	36.2	12.8
6年生	2.2	5.5	8.8	33.0	33.0	17.6
合計	1.1	5.9	11.1	28.9	35.2	17.7

表4 講義を受けた感想 (医学科全学年共通質問事項) (%)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
10) 基礎医学の講義はよく理解できた.						
2年生	1.4	1.4	9.6	30.1	49.3	8.2
3年生	0.0	3.7	9.9	28.4	48.1	9.9
4年生	0.0	2.5	12.3	19.8	50.6	14.8
5年生	0.0	2.1	14.9	40.4	34.0	8.5
6年生	0.0	2.2	15.1	28.0	50.5	4.3
11) 基礎医学のカリキュラムは適切であった.						
2年生	1.4	9.6	16.4	31.5	31.5	9.6
3年生	0.0	8.6	18.5	23.5	38.3	11.1
4年生	0.0	7.4	9.9	22.2	43.2	17.3
5年生	0.0	12.8	19.1	25.5	31.9	10.6
6年生	1.1	4.3	26.1	28.3	35.9	4.3
12) 基礎医学の実習により講義で得られた知識が納得できた.						
2年生	2.7	2.7	9.6	28.8	42.5	13.7
3年生	0.0	6.2	12.3	26.0	39.5	16.0
4年生	0.0	3.7	11.1	22.2	43.2	19.8
5年生	0.0	6.5	14.9	29.8	31.9	17.0
6年生	1.1	3.2	20.4	34.4	31.2	9.7
13) 基礎医学の講義は臨床医学の理解に役立った.						
3年生	0.0	2.5	1.2	22.2	54.3	19.8
4年生	1.2	1.2	3.7	19.8	49.4	24.7
5年生	0.0	4.3	10.6	21.3	40.4	23.4
6年生	0.0	2.1	10.8	18.3	51.6	17.2
14) 課題実習の期間は適切であった.						
3年生	32.9	1.3	1.3	27.6	28.9	7.9
4年生	1.3	0.0	6.3	17.5	52.5	22.5
5年生	0.0	0.0	6.4	14.9	55.3	23.4
6年生	2.2	1.1	6.5	26.9	50.5	12.9
15) 課題実習は有意義であった.						
3年生	35.5	4.0	0.0	28.9	23.7	7.9
4年生	1.3	1.3	5.0	12.5	47.5	32.5
5年生	0.0	0.0	10.6	10.6	51.1	27.7
6年生	1.1	1.1	9.7	24.7	49.5	14.0
16) 統合講義はよく理解できた.						
3年生	2.5	3.7	6.2	30.9	48.1	8.6
4年生	1.2	1.2	8.6	18.5	46.9	23.4
5年生	0.0	2.1	8.6	27.7	51.1	10.6
6年生	0.0	0.0	6.5	26.9	55.9	10.8
17) 統合講義の時間割は適切であった.						
3年生	2.6	6.4	10.3	33.3	37.2	10.3
4年生	0.0	2.5	10.1	21.5	48.1	17.7
5年生	0.0	6.4	10.6	21.3	48.9	12.8
6年生	0.0	2.2	4.4	26.7	55.6	11.1
18) CBT は臨床実習前の知識の整理に役立った.						
5年生	0.0	0.0	8.7	17.4	39.1	34.8
6年生	1.1	5.4	4.3	13.0	45.7	30.4
19) OSCE は臨床実習前の基本的な手技を学ぶのに役立った.						
5年生	0.0	2.2	4.3	26.1	39.1	28.3
6年生	2.2	4.4	2.2	20.9	45.1	25.3
20) 臨床実習 (ボリクリ) において実際の臨床に参加することにより、講義で習ったことが理解できた.						
5年生	0.0	0.0	6.5	17.4	45.7	40.4
6年生	0.0	1.1	5.5	19.8	47.3	26.4
23) 医学実習Ⅱでは期待通りのことができた.						
6年生	0.0	0.0	6.7	18.9	50.0	24.4
	長すぎる	適切	短すぎる			
21) 臨床実習の各科毎の期間は適切であった.						
5年生	18.2	77.3	4.5			
6年生	10.3	85.1	4.6			
	多すぎる	適切	少なすぎる			
22) 臨床実習の1つの班の人数は適切であった.						
5年生	13.3	86.7	0.0			
6年生	17.0	81.8	1.1			

達成するための科目が十分に用意されていた (おおむねそうである: 全体で 50.6%)、, 「シラバスは授業の内容を知る上で非常に役立ったおおむねそうである: 全体で 44.0%)」 などカリキュラム全般に対しても、ほぼおおむねそうであると回答していた。しかしながら、教養科目に対する質問項目に関しては、否定的な

回答が多かった。外国語科目に関しては、比較的充実を望む回答が多いものの、内容に関しては医学英語に役立つものを期待する回答が多かった。

講義を受けた感想 (各学年個別質問項目) では (表 4), 基礎医学, 臨床医学, Computer Based Test (CBT), Objective Structured Clinical Examination

表5 図書館について (%) (医学科)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
1) 医学部分館をよく利用する.						
1年生	9.5	31.8	28.6	19.0	6.3	4.8
2年生	1.6	9.4	14.1	21.9	26.6	26.6
3年生	0.0	7.2	8.7	11.6	36.2	36.2
4年生	0.0	2.9	11.6	23.2	39.1	23.2
5年生	0.0	10.6	10.6	17.0	27.7	34.0
6年生	1.1	3.2	8.6	19.4	40.9	26.9
合計	2.0	10.1	13.3	18.8	30.6	25.2
2) 医学部分館の雑誌・本はよく揃っている.						
1年生	35.5	4.8	6.5	29.0	16.1	8.0
2年生	9.4	3.1	12.5	32.8	29.7	12.5
3年生	4.3	10.1	17.4	27.5	27.5	13.0
4年生	7.2	10.1	8.7	31.9	33.3	8.7
5年生	4.3	6.4	21.3	21.3	29.8	17.0
6年生	4.3	5.4	16.3	27.2	35.9	10.9
合計	10.4	6.7	13.6	28.5	29.3	11.4
3) 医学部分館を含め学生用コンピュータの数は不足している.						
1年生	19.3	4.8	4.9	22.6	32.2	16.1
2年生	3.1	0.0	9.4	18.8	37.5	31.3
3年生	2.9	1.4	4.3	18.8	34.8	37.7
4年生	1.4	1.4	8.7	15.9	36.2	36.2
5年生	2.1	8.5	2.1	25.5	34.0	27.7
6年生	2.2	1.1	10.8	20.4	34.4	31.2
合計	5.0	2.5	7.2	20.1	34.9	30.4
4) 図書の貸し出し期間は適切である.						
1年生	24.2	1.6	9.7	27.4	30.6	6.5
2年生	9.4	1.6	9.4	23.4	39.1	17.2
3年生	4.3	4.3	7.2	26.1	33.3	24.6
4年生	4.3	5.8	2.9	21.7	49.3	15.9
5年生	2.1	2.1	6.4	21.3	36.2	31.9
6年生	3.2	0.0	8.6	19.4	54.9	14.0
合計	7.7	2.5	7.4	23.0	41.8	17.6

表6 成績評価方法について (%) (医学科)

	試験を重視	出席を重視	レポートを重視	総合評価
成績評価方法としてどのような評価方法を望みますか.				
1年生	9.5	39.7	12.7	38.1
2年生	6.3	33.3	14.3	46.0
3年生	25.0	14.7	4.4	55.9
4年生	21.5	4.6	16.9	56.9
5年生	25.5	17.0	4.3	53.2
6年生	14.6	9.0	1.1	75.3
合計	16.7	19.0	8.6	55.7

表7 オフィスアワーについて (%) (医学科)

	1	2	3	4	5	
オフィスアワーを利用したことがありますか。また利用してよかったと思いますか.						
1年生	6.3	3.1	59.4	10.9	20.3	1: 利用したことがある。また利用したい。 2: 利用したことがあるが、もう利用する気はない。 3: 利用したことはないが、機会があれば利用したい。 4: 利用したことはなく、その気もない。 5: オフィスアワーが何か知らない。
2年生	8.2	1.6	63.9	11.5	14.8	
3年生	11.3	1.4	43.7	25.4	18.3	
4年生	11.1	3.2	50.8	17.5	17.5	
5年生	2.2	2.2	30.4	34.8	30.4	
6年生	8.0	1.1	37.9	33.3	19.5	
合計	8.2	2.0	47.7	22.4	19.6	

(OSCE), 実習において各学年ともおおむねそうである, もしくは適当と回答した割合が多かった。

図書館分館利用に関しては, 1年生を除き, よく利用され, 図書の内容, 利用に関してはほぼ満足しているという回答が多かったが, 学生用コンピュータの不足を指摘する声が多かった (表5)。

成績評価に関しては1年生が出席重視と回答したのに対し, その他の学年では総合評価を望む声が多かった (表6)。

オフィスアワーの利用に関しては, 「利用したことはないが, 機会があれば利用したい」と回答した割合が最も高かったが, 実際の利用は少なく, 5年生では「利

表8 カリキュラム・授業等についてのアンケート回答者属性 (看護学科)

	全体	回答率 (%)	男性	女性
1年生	45	75.0	4	20
2年生	49	80.0	0	20
3年生	50	73.2	7	28
4年生	65	100.0	5	52
合計	209	92.9	16	120

男女別人数は、男女別の質問項目に回答のあった者のみ

表9 学部、学科の志望理由 (%) (看護学科)

	将来希望する職業に関連	もともと興味があった	入試の進路指導	地元だから	その他
1年生	79.5	13.6	4.5	0.0	2.3
2年生	72.3	17.0	4.3	6.4	0.0
3年生	66.0	12.0	10.0	2.0	10.0
4年生	70.8	12.3	12.3	4.6	0.0
合計	71.8	13.6	8.3	3.4	2.9

表10-1 講義を受けた感想 (看護学科全学年共通質問事項) (%)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
1) 現在の学部・学科に入ってよかったと思う。						
1年生	2.2	4.4	8.9	11.1	48.9	24.4
2年生	0.0	2.0	4.1	20.4	51.0	11.4
3年生	0.0	0.0	12.0	18.0	54.0	16.0
4年生	0.0	1.5	4.6	9.2	60.0	24.6
合計	0.5	1.9	7.2	14.4	54.1	22.0
2) 本学科の教育目的、目標を達成するための科目が十分に用意されていた。						
1年生	2.2	0.0	2.2	24.4	48.9	22.2
2年生	2.0	0.0	0.0	12.2	67.3	18.4
3年生	4.0	0.0	0.0	22.0	64.0	10.0
4年生	0.0	1.5	1.5	15.4	67.7	13.8
合計	1.9	0.5	1.0	18.2	62.7	15.8
3) シラバスは授業の内容を知る上で非常に役に立った。						
1年生	2.2	0.0	6.7	22.2	55.6	13.3
2年生	2.0	2.0	2.0	22.4	46.9	24.5
3年生	0.0	0.0	6.0	22.0	66.0	6.0
4年生	0.0	0.0	7.7	18.5	52.3	21.5
合計	1.0	0.5	5.7	21.1	55.0	16.7
4) 教養科目は有意義であった。						
1年生	2.2	4.4	13.3	42.2	24.4	13.3
2年生	4.1	4.1	12.2	22.4	42.9	14.3
3年生	0.0	4.0	18.0	30.0	38.0	10.0
4年生	1.5	1.5	16.9	30.8	40.0	9.2
合計	1.9	3.3	15.3	31.1	36.8	11.5
5) 教養科目の単位数はもっと多い方がよい。						
1年生	2.2	22.2	40.0	22.2	6.7	6.7
2年生	4.1	24.5	28.6	34.7	8.2	0.0
3年生	2.0	10.0	30.0	48.0	6.0	4.0
4年生	3.1	15.4	21.5	49.2	7.7	3.1
合計	2.9	17.7	29.2	39.7	7.2	3.3
6) 教養科目は専門課程に入ってからもあった方がよい。						
1年生	2.2	22.2	26.7	35.6	6.7	6.7
2年生	8.3	18.8	29.2	29.2	12.5	2.1
3年生	2.0	24.5	30.6	30.6	6.1	6.1
4年生	1.5	23.1	18.5	32.3	20.0	4.6
合計	3.4	22.2	25.6	31.9	12.1	4.8

用したことはなく、その気もない」と回答した割合が最も高かった。

2. 看護学科

回答者数は表8のとおりで、アンケートに回答したのは各学年40～60名、全体では92.9%であった。また、男女別の質問項目に回答した割合は医学科同様比較的少なかった。

学部学科の志望動機は、各学年とも、将来希望する職業に関連していると回答した割合が最も多く、各学年とも約7割で、全体では71.8%であった(表9)。

講義を受けた感想(全学年共通質問項目)では(表10)、「現在の学部、学科に入ってよかったと思う。」に関しては、全学年を通じて、おおむねそうであると回答していた(おおむねそうである:全体で54.1%)。

表 10-2 講義を受けた感想 (看護学科全学年共通質問事項) (%)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
7) 教養科目は専門課程との関連性を考慮したカリキュラムである.						
1年生	4.4	15.6	24.4	22.2	22.2	11.1
2年生	4.1	8.2	20.4	46.9	18.4	2.0
3年生	0.0	12.0	28.0	36.0	20.0	4.0
4年生	3.1	7.7	23.1	38.5	24.6	3.1
合計	2.9	10.5	23.9	36.4	21.5	4.8
8) 外国語授業はもっと多い方がよい.						
1年生	0.0	26.7	42.2	20.0	2.2	8.9
2年生	0.0	35.4	27.1	29.2	6.3	2.1
3年生	2.0	22.0	20.0	36.0	12.0	8.0
4年生	4.6	15.4	21.5	26.9	18.5	3.1
合計	1.9	24.0	26.9	31.3	10.6	5.3
9) 教養科目でもっと専門(看護)の英語に役立つ授業をしてほしい.						
1年生	4.4	8.9	15.6	33.3	24.4	13.3
2年生	4.1	20.4	22.4	32.7	16.3	4.1
3年生	0.0	10.0	20.0	42.0	22.0	6.0
4年生	4.6	12.3	16.9	32.3	30.8	3.1
合計	3.3	12.9	18.7	34.9	23.9	6.2
10) 専門の授業内容はよく理解できる.						
1年生	0.0	4.4	22.2	37.8	31.1	4.4
2年生	0.0	2.0	8.2	30.6	53.1	6.1
3年生	0.0	0.0	0.0	36.0	56.0	8.0
4年生	1.5	0.0	1.5	15.4	72.3	9.2
合計	0.5	1.4	7.2	28.7	55.0	7.2
11) 専門のカリキュラムは適切である.						
1年生	6.7	4.4	11.1	26.7	40.0	11.1
2年生	0.0	4.1	10.2	30.6	49.0	6.1
3年生	2.0	2.0	2.0	30.0	60.0	4.0
4年生	1.5	0.0	3.1	21.5	63.1	10.8
合計	2.4	2.4	6.2	26.8	54.1	8.1
12) 専門の講義を受けて自分の進むべき方向厚生がさらに具体的に見えるようになった.						
1年生	2.2	6.7	11.1	31.1	35.6	13.3
2年生	2.0	4.1	2.0	32.7	36.7	22.4
3年生	2.0	2.0	2.0	26.5	55.1	12.2
4年生	3.1	0.0	3.1	23.1	60.0	10.8
合計	2.4	2.9	4.3	27.9	48.1	14.4

表 11 講義を受けた感想 (看護学科全学年共通質問事項) (%)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
13) シラバスに実習の到達目標がわかりやすく書かれている.						
4年生	1.6	0.0	4.7	20.3	62.5	10.9
14) 看護実習の到達目標の達成にむけて、実習全体が組み立てられている.						
4年生	0.0	1.6	0.0	17.2	67.2	14.1
15) 実習において、時間外(予習復習等)を促す工夫がなされている.						
4年生	1.6	1.6	3.1	18.8	50.0	25.0
16) 教員および臨床指導者の関わり方は適切であった.						
4年生	0.0	0.0	3.1	20.3	60.9	15.6
17) 実習により専門分野の知識と看護実践の理解が深まった.						
4年生	0.0	0.0	1.6	7.8	67.2	23.4
18) 総合的に判断して、実習環境は適切であった.						
4年生	0.0	0.0	1.6	20.3	57.8	20.3
19) 専門分野への関心が高まった.						
4年生	1.6	0.0	0.0	9.4	64.1	25.0

「本学科の教育目的、目標を達成するための科目が十分に用意されていた(おおむねそうである:全体で62.7%)」,「シラバスは授業の内容を知る上で非常に役立った(おおむねそうである:全体で55.0%)」などカリキュラム全般に対しても、おおむねそうであると回答していた。しかしながら、教養科目に対する質問項目に関しては、どちらとも言えないと回答した者

が多かった。外国語科目、看護に関する英語との関連に関しても、どちらとも言えないと回答した者が多かった。専門科目に関しては各学年とも評価が高かった。

講義を受けた感想(各学年個別質問項目:看護実習)では(表11)、おおむねそうであると回答していた。

図書館分館利用に関しては、医学科同様1年生を除

表 12 図書館について (%) (看護学科)

	わからない	全くそうでない	あまりそうでない	どちらとも言えない	おおむねそうである	非常にそうである
1) 医学部分館をよく利用する.						
1年生	0.0	23.8	26.2	28.6	19.0	2.4
2年生	0.0	2.0	12.2	18.6	38.8	28.6
3年生	0.0	4.0	12.0	26.0	36.0	22.0
4年生	1.5	1.5	7.7	16.9	52.3	20.0
合計	0.5	6.8	13.6	21.8	38.4	18.9
2) 医学部分館の雑誌・本はよく揃っている.						
1年生	31.0	11.9	2.3	28.6	21.4	4.8
2年生	10.2	2.0	12.2	30.6	32.7	12.2
3年生	2.0	2.0	12.0	36.0	40.0	8.0
4年生	3.1	0.0	9.2	43.1	36.9	7.7
合計	10.2	3.4	9.2	35.4	33.5	8.3
3) 医学部分館を含め学生用コンピュータの数は不足している.						
1年生	11.9	9.5	11.9	26.2	28.6	11.9
2年生	10.2	2.0	10.2	20.4	26.5	30.6
3年生	0.0	4.0	4.0	20.0	40.0	32.0
4年生	1.5	4.6	9.2	24.6	33.8	26.2
合計	5.3	4.9	8.7	22.8	32.5	25.7
4) 図書の貸し出し期間は適切である.						
1年生	33.3	4.8	2.4	33.3	19.0	7.1
2年生	2.0	4.1	10.2	34.7	40.8	8.1
3年生	0.0	12.2	14.3	34.7	34.7	4.1
4年生	6.2	6.2	12.3	18.5	43.1	13.8
合計	9.3	6.8	10.2	29.3	35.6	8.8

表 13 成績評価方法について (%) (看護学科)

	試験を重視	出席を重視	レポートを重視	総合評価
成績評価方法としてどのような評価方法を望みますか.				
1年生	0.0	54.8	9.5	35.7
2年生	0.0	46.7	11.1	42.2
3年生	2.0	14.0	2.0	82.0
4年生	1.6	22.6	4.9	71.0
合計	1.0	32.7	6.5	59.8

表 14 オフィスアワーについて (%) (看護学科)

	1	2	3	4	5	
オフィスアワーを利用したことがありますか。また利用してよかったですか。						
1年生	16.7	0.0	57.1	4.8	21.4	1: 利用したことがある。また利用したい。
2年生	8.5	0.0	44.7	25.5	21.3	2: 利用したことがあるが、もう利用する気はない。
3年生	25.0	2.1	39.6	18.8	14.6	3: 利用したことはないが、機会があれば利用したい。
4年生	6.8	0.0	44.1	11.9	37.3	4: 利用したことはなく、その気もない。
合計	13.8	0.5	45.9	15.3	24.5	5: オフィスアワーが何か知らない。

き、よく利用され、図書の内容、利用に関してはほぼ満足しているという回答が多かったが、学生用コンピュータの不足を指摘する声が多かった (表 12)。

成績評価に関しては1, 2年生が出席重視と回答したのに対し, 3, 4年生では総合評価を望む声が多かった (表 13)。

オフィスアワーの利用に関しては、医学科同様「利用したことはないが、機会があれば利用したい」と回答した割合が最も高かったが、実際の利用は少なかった (表 14)。

考察

1. 医学科

医学部医学科においては、その大多数が医師になるという性格上、志望動機は将来希望する職業に関連していると回答したものが多く、意識の高さがうかがえた。また、各学年において本学科へ入学してよかったと回答したものが多く、授業科目とくに、基礎医学、臨床医学、実習をはじめ、図書館利用などについても学生の評価は比較的高く、充実した学生生活を送っていることが推察された。

一方で、教養科目に対する評価は低く、否定的な意見が各学年とも多く、教養科目の重要性を学生に伝える必要があると思われた。教養科目の性格上、必ずし

も医学と直結したものである必要があるとは思われないが、今後、内容、基礎、臨床医学との関連性の考慮など再考の余地があるものと思われた。特に、外国語科目の在り方については医学英語との関連を望む声が高く、さらなる充実が必要と思われた。

オフィスアワーに関しては、学生と教員が接するよい機会であると考えられ、積極的に周知し、学生の医学への意識の向上の手段として活用していく必要があると思われた。

2. 看護学科

医学部看護学科においても、その大多数が看護師、保健師（一部養護教諭）になるという性格上、志望動機は将来希望する職業に関連していると回答したものが多く、意識の高さがうかがえた。また、各学年において本学科へ入学してよかったと回答したものが多く、授業科目とくに、専門科目、実習をはじめ、図書館利用などについても学生の評価は比較的高く、充実した学生生活を送っていることが推察された。

一方で、教養科目に対する評価は医学科と同様に専門科目、実習ほどは高くなく、教養科目の重要性を学生に伝えるとともに、今後、内容、専門科目との関連性の考慮など再考の余地があるものと思われた。また、外国語科目の在り方についても、看護に関する英語との関連を含めさらなる充実が必要と思われた。

オフィスアワーに関しても、学生と教員が接するよい機会であると考えられ、積極的に周知し、学生の看護学への意識の向上の手段として活用していく必要があると思われた。

3. 限界と今後の課題

現在、全国の医学部における学生による授業評価の実施状況は、上司、同僚、学生、自己など何らかの形でほぼ行われている状況である³⁾。また、学生による評価と同僚による評価との関連はある程度強く、学生による評価の信頼性はある程度あるとの報告もある⁴⁾。カリキュラム全体に関する調査としては、A大学卒業生を対象に医学教育カリキュラムが適切であったか調査した結果、「ふつう、適切、非常に適切」あわせて、医学科80%弱、看護学科ほぼ100%という報告がある⁵⁾。一方で、1年次のカリキュラムに関しては、1年生対象のアンケート結果では「あまりよくない、よくない」あわせて、医学科21%と報告されており、質問項目、対象者は全く同じでないもののほぼ本医学部と同様の結果で、1年次のカリキュラムについての学生の評価はあまり高くはないと思われ、今後の課題といえる。

今回の調査は、香川大学全体として行ったアンケートであるが、アンケートの内容自体は各学部のカリキュラムの違いなどから統一されたものではなく、特に医学部では、独自色の強い内容となっていた。したがって、香川大学他学部との比較は困難であった。しかしながら、「医学部に入ってよかったと思う。」と回答したのは、医学科では「おおむねそうである」、「非常にそうである」を合わせると医学科全体で90%程度、看護学科全体で80%程度であり、同様の質問、回答内容を設定し解析している香川大学A学部の60%程度に比較するとかなり高い値であった。また、本2011年度にも同様のアンケートを香川大学全体で行うことが決定しており、同様の内容で実施することができれば経年変化も検討でき、より有益な資料を得ることができると思う。

結論

今回の調査から以上のことがまとめられた。

- 1) 香川大学医学部学生の授業に対する評価は比較的高かった。
- 2) 教養科目に対する評価は低く、特に英語を含めた内容の充実、科目の意義を伝える必要があると思われた。
- 3) オフィスアワーの積極的活用をさらに周知し、学生の医学への意識をさらに高める必要があると思われた。

文献

- 1) 香川大学：学生による授業報告書，http://www.kagawa-u.ac.jp/information/self_assessment/evaluation_class/，2011/11/3
- 2) 香川大学：カリキュラム・アンケート報告，<http://www.kagawa-u.ac.jp/files/1213/0550/7924/H22curriculum.pdf>，2011/5/16.
- 3) 平成17年度アンケート回収集計：平成17年度医学教育カリキュラムの現状（全国医学部長病院長会議），621-655，2005.
- 4) 吉村明修，志村俊郎，阿曾亮子，他：医学部学生による授業評価の信頼性に関する検討，医学教育，38(6)，377-381，2007.
- 5) 福井大学：福井大学医学部，http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/pdf_management/evaluation/med-edu-faculties.pdf，2011/11/4.